

## サービスの実施 ヒアリングシート（高齢通所系VOL.1）

（書類を提示してもらうなど具体例に確認すること）

### 6\_4\_1 (4\_1)

- 通所時介護計画書には、日々のサービス提供内容をわかり易く標記している。
- 通所介護計画書は、利用者台帳などに保管し、サービス提供に関係する職員が、いつでも確認できるように整理されているか。
- 通所介護計画書はケアプランの主旨に沿って作成され、各種記録も含めてはリンクしている。（ケアプラン・通所介護計画書・記録）
- 利用者の様子は、家族や担当のケアマネジャーと適宜連絡取り合っている。

### 6\_4\_2 (4\_2)

#### ① 食事

- 食事形態、禁食対応、療養食など、利用者の心身状況に沿って食事提供している。
- 食事の内容は、アセスメント、家族からの申し送り（連絡帳記載事項）などによって、日々変更できるようにしている。
- 月単位（2週間単位）などの期間を定めてメニューを決定し、利用者には書式を配布して伝えている。（夕食と献立が重ならないように配慮している）
- 都合によって、遅刻してきた利用者に対しても、ルールに沿って食事を提供している。
- 歳時記にちなんだ行事食などを提供し、食事を楽しんでもらっている。

#### ② 入浴

- 入浴サービスを提供するには、主治医の意見書を提供してもらい、詳しい心身状況をアセスメントで把握している。
- 入浴前には、検温や血圧測定などを行い健康管理に取り組んでいる。
- 入浴後についても、水分補給や休憩を行っている。
- 入浴の順番は、利用者や家族の意向を聞いて実施している。
- 感染症の利用者についても順番を決めている。
- 同性解除など、羞恥心に配慮した具体的な取り組みを標準化させている。
- 認知症や拒否の利用者に対して、円滑に入浴できるように取り組んでいる。
- ゆず湯、菖蒲湯、BGM、などによって入浴が楽しめるようにしている。
- 定期的な清掃によって、浴室や脱衣室の清潔確保に取り組んでいる。

#### ③ 排泄

- 利用者一人ひとりの排泄状況をアセスメントなどによって把握し、円滑な排泄介助に取り組んでいる。
- 到着後、プログラムの開始、終了時、週直前、帰宅前など、適宜声かけによって、より自立した排泄支援に取り組んでいる。
- リハパンやオムツなどは事業所でも用意して支援に取り組んでいる。
- 排泄支援に関する定期的な研修を実施してスキルの向上に取り組んでいる。
- 手すり・段差解消・カーテンなどを施工して、安全性確保向上に取り組んでいる。
- トイレの掃除は、職員による定時清掃か・外部業者によって、清潔確保に取り組んでいる。

#### ④ 送迎

- 車いすのまま乗降できる送迎車両を用意して、概ね片道××分位の送迎を実施している（車種・何人乗りかが何台あるのか）
- 送迎車両にはドライバー以外に職員（携帯電話持参）を同乗させ、安全確保に取り組んでいる。

- 乗降場所は安全に配慮し、複数日の利用者に対しては時間を概ね合わせている。
- 安全運転講習会への出席、事故対応マニュアルなどを設け、安全確保に取り組んでいる。
- 全員が到着するまでや、帰宅するまでの時間帯は、手持無沙汰にならないようにしている。

⑤

#### 6\_4\_3 (4\_3)

- 主治医の意見書、家族やケアマネジャーからの情報などによって、利用者の心身状況を把握している。
- 利用者の心身状況についてはアセスメントに落とし込み、職員間で共有している。
- 連絡帳や家族からの申し送りに家庭での状況を把握し、到着後はバイタルサインのチェックや看護師のヒアリングによって状態を把握している。
- 健康管理についての具体的な取り組みとしては、体操や休憩を常に行っている。
- 常用薬は日々持参してもらい、持参してきた薬が正確かどうかを、到着後に看護師が確認している。
- 忘れてきた時の対応方法を事業所で取り決めている。
- 服薬確認は、看護師（介護職員）が行い、連絡帳や介護記録で確認している。
- 誤薬については、具体的に改善計画を立案している。
- 心身状況の変化に対応するために、看護職は日頃から詳しい様子観察に取り組んでいる。
- 緊急対応は、マニュアル、連絡先一覧などを設けて職員に周知している。
- 体調管理や口腔ケアのスキルアップのために研修を行っている。

#### 6\_4\_4 (4\_4)

- アセスメント情報をもとに個別機能訓練計画を作成し、利用者や家族に誰が説明し、了解を得ている。
- 個別機能訓練計画は3ヶ月毎に作成し、モニタリングと評価を行い「次の計画」が策定されている。その都度、利用者や家族の確認を得ている。
- 個別機能訓練計画の目的は、日々の生活の中で活かされる内容になっている。
- 日々の生活・レクリエーション・趣味活動などの場で、機能訓練を実施している。
- 機能訓練指導員は介護職員と連携して、楽しみながら機能訓練が行えるようにしている。
- 福祉用具は、定期的に点検を行っているか。（その記録はある）

#### 6\_4\_5 (4\_5)

- 利用者の心身状況や嗜好を把握して、各種プログラムを決定している。
- 各種のクラブ活動（趣味活動）を定期的実施している。
- 参加は無理強いていない。（どんな種類のクラブ活動を、どのようなタイミングで開催しているか。作品は展示されている。）
- 重度の利用者なども楽しむ機会も用意している。（映画鑑賞会など）
- 利用者が落ち着けるように、環境や人間関係をどのように配慮している。
- 施設内の清掃は、職員、外部の清掃事業者が実施し、チェック体制を敷いている。

#### 利用者保護Ⅰ

- 重要事項説明書には、事業所、市町村、都府県などの苦情相談窓口を目地して、周知に努めている。
- 定期的にアンケート、利用者懇談会、家族懇談会などを開催して意向や要望の把握に取り組んでいる。
- アンケートなど、意向や要望を把握した内容については、職員間で共有するとともに、利用者、家族にフィードバックしている。

#### 利用者保護Ⅱ

- 高齢者虐待防止法の主旨に則り、定期的な職員研修の実施、チェックリストなどを設け、職員の注意喚起を促している。

- 虐待や虐待に類似する事例を発見した際には（自宅での発生も含め）、関係機関と連携した対処するなどの仕組みが整っている。

### **利用者保護Ⅲ**

- 事業所としてのリスクの優先順位を明確にして対策を講じ、職員や利用者、家族に対応を周知している。
- 事業存続計画を作成して、安全性の維持向上に取り組んでいる。
- 各種のリスク（事故報告書やヒヤリハット報告書を含め）については、事業報告において総括し、事業計画書において改善計画を明示している。
- 様々なリスクマネジメントに関する会議や委員会を設け、職員への意識の高揚を促している。